

# 社會政策概論

有斐閣雙書

---

# 社会政策概論

---

矢島悦太郎 編



有斐閣双書

\* 入門・基礎知識編 \*

---

## は し が き

本書は、社会政策を科学として研究するための入門書である。さきに、本双書の一冊として出版された岸本英太郎編『社会政策入門』は、社会政策について概観的知識をあたえることを目的としていた。本書はそれをうけつぎ、さらに一步を進めて、これまで社会政策の学問研究のなかで、諸学者によるいろいろの理論がどのように発展してきたか、という諸理論の展開過程を解明し、読者がそれによって社会政策を科学として研究するための手掛りを与えんとするものである。本書は、主たる理論についてほんの要点をのべたにすぎないが、入門書としてはややむずかしいかもしれない。ただ、社会政策の科学は——さらに一般に社会科学は、もともと非常に複雑な理論の体系なのだから、それを本当に研究するためには、まずはじめに、この程度のものを正しく理解しておくことが必要である。戦後は、社会科学の研究が、諸学者によってはなはだ安易に考えられているきらいがみられる。

社会政策の科学は、社会科学の一部だから、それは社会の部分的な諸関係についての技術論的な把握、そのような単なる知識の集積にとどまってはならない。何よりもそれは、いろいろの労働問題や社会政策の諸施策が、社会全体との関係において必然的に現わるべくして現われたゆえんを、統一的な理論によって正しく解明しうるものでなければならない。そのような、すべての社会の諸現象が具体的に生成し発展する必然的過程をそのまま認識する正しい理論にもとづいてのみ、人ははじめて、その必然性の過程にそくして現在の社会を適切に批判し、そこから政策行為など、

社会を改革するための正しい実践をひきだし、人間社会を真実の発展へ導くことができる。社会科学とは、ほんらいこのような、実践のための社会批判の科学である。誤まれる理論は誤まれる実践を導きだし、その行為は、たとえ善意に充ちたものであっても、いたずらに社会に混乱をもたらす必然的に挫折せざるをえない。

現在、世界各国において、技術革新にもとづく急速な経済成長にともない、国民生活水準の上昇とからみあいながら、資本主義の深刻な矛盾が各方面にあらわれている。したがってこの矛盾から、各国で複雑な労働問題が生じており、それにたいする社会政策の諸施策は、国家的諸政策の中心となってますます重要性をくわえている。戦後、社会保障という新たな形態の社会政策が形成され、すべての国がその充実のために苦慮しつつあることなども、その現われである。ちかごろ頻発している大学紛争なども、その矛盾と関連して生じた。

労働問題と社会政策の諸施策の複雑化に対応して、現在それを研究する学者の理論も、いちじるしく分化し多面化している。同時に、それらの学者による諸理論は今のところ統一されておらず、時には、相互にはなはだしい論理の乖離をしめしている。そのため、本書でこれらの諸理論をそれぞれの学者が主張するまに紹介したのでは、それはいたずらに読者の混乱をまねくだけである。そこで本書では、各執筆者は、それぞれ自己の見解にもとづいて独自の見地から諸理論を整理し、それを批判しながら紹介するという方法をとった。各項目ごとに論理が一貫しているということが、むずかしい理論を理解するためには、とくに必要だと考えられたからである。

本書の執筆者は、しばしば会合して共同討議をおこない、各項目の取扱いを統一するようにつとめた。ただ、執筆者各人の見解にはそれぞれに異

なる点があるから、本書はこれを尊重し、各項目の叙述にあたってはこの点はそのまましておいた。なお、共同討論に参加された、山下不二男（中央大学講師）、小山路男（横浜市立大学教授）、大陽寺順一（一橋大学教授）、島崎晴哉（中央大学教授）、山田高生（成城大学助教授）の諸氏は、いろいろの事情で執筆には参加することができなかったが、その意見は十分に本書にとり入れられている。また、本書執筆者の一人である工藤恒夫君は、原稿をまとめる最終段階にいたり、本務校で学園紛争が勃発し、その仕事に忙殺されることとなり、期日までに原稿を仕上げることが不可能となった。そのため今回はやむなく、工藤君の担当する社会保障については、「補論」を付加するにとどめた。読者は、「補論」のなかから執筆者の意を汲んでいただきたい。再版にさいして正規の形にする予定である。

1969年3月10日

矢島悦太郎

<執筆者および執筆分担>

|       |              |         |
|-------|--------------|---------|
| 矢島悦太郎 | (中央大学名誉教授)   | 〔担当〕    |
|       | (亜細亜大学教授)    | 〔第1～5章〕 |
| 高島道枝  | (中央大学教授)     | 〔第6章〕   |
| 石畑良太郎 | (青山学院大学教授)   | 〔第7章〕   |
| 中村智一郎 | (千葉敬愛経済大学教授) | 〔第8章〕   |
| 神崎和夫  | (関東学園大学助教授)  | 〔第9章〕   |
| 工藤恒夫  | (中央大学教授)     | 〔補論〕    |

## 『有斐閣双書』の刊行に際して

---

わが社は、創業 70 周年記念出版の一として「有斐閣全書」を、次いで「教養全書」を、また 80 周年記念として「法律学全集」を、さらに随時各種の「講座」「演習」「辞典」などを刊行し、戦後における学術の発展と普及に大きな役割を果たしてきた。

しかし、近時の大学教育のめざましい進展により、学習・研究者の層が著しく拡大されてきたこと、さらに最近の社会的・経済的情勢の変化に伴ない、社会人の再教育が重要性を加え、かつ実務上の問題解決に正しい指針を与える良書を求める声の大なることを顧慮するとき、旧来の殻を破った新しい双書の必要を痛感するに至った。

『有斐閣双書』は正にその要請に応えるために企画されたもので、法律・経済・社会などの社会科学を中軸とし、広く人文科学その他の関連分野にわたる従来の研究の貴重な成果を取り入れ、表現は平易・簡潔に、内容は必要にして十分なコンパクトなものであることを期している。

本双書は、次の二つを主な内容とする。まず、〈入門・基礎知識編〉では、初学者のためのやさしい教科書、既修知識を能率よく整理するための参考書、さらに、通常の教科書では初学者には理解しにくいもの、または十分に論じ及んでいない問題についての、分りやすい解説などを収め、それぞれの読者層に対応した正しい基礎知識を提供する。

次に、〈理論・実務編〉では、理論・実務上の重要なテーマについて、専門分野の枠にとらわれることなく総合的に解説し、研究者にとっては、研究の豊かな糧となり、実務家にとっては、日常の執務のよき相談相手となることを期するものである。

執筆には、それぞれの問題について、造詣の深い新鋭と権威をお願いし、読者の要望に正しく応えうるように最善の配慮をしている。この双書発刊の意義と熱意をくまれ、心からなる御支援をお願いしてやまない。

(昭和 39 年 3 月)

---

## 有斐閣双書 既刊と続刊

＊印は続刊 †印は理論・実務編

末川 博編

法 学 入 門

伊藤正己・加藤一郎編

現代法学入門

渡辺洋三編

法 の 常 識  
<改訂版>

伊藤正己・加藤一郎編

教材法学入門

天野和夫著

法 思 想 史 入 門

柴田光蔵著

ローマ法の基礎知識

伊藤正己著

憲 法 入 門

大西芳雄編

憲 法 概 説

阿部照哉・池田政章編

憲 法  
(1) 総 論 (全4巻)  
(2) 基本的人権 1  
(3) 基本的人権 2  
(4) 統治機構

綿貫芳源・高原賢治編

憲 法 25 講

小嶋和司著

憲 法 概 観  
<新版>

宮田 豊・阿部照哉  
畑 博行・中川 剛著

基 本 憲 法

奥平康弘・杉原泰雄編

憲 法 学

(1) 人 権 の 基本問題 1 (4) 統治機構の 基本問題 1  
(2) " 2 (5) " 2  
(3) " 3 (6) " 3  
(全6巻)

伊藤正己・阿部照哉  
尾吹善人編

憲 法 小 辞 典  
<増補版>

芦部信喜・小嶋和司  
田口精一著

憲 法 の 基 礎 知 識  
— 質問と解答 —

阿部照哉・池田政章編

憲 法 判 例  
<増補版>

佐藤 功編

教 材 憲 法 入 門

今村成和著

行 政 法 入 門  
<新版>

杉村敏正編

行 政 法 概 説 総 論

杉村敏正編

行 政 法 概 説 各 論

成田頼明・荒 秀・南 博方  
近藤昭三・外間 寛著  
現 代 行 政 法

南 博方・田村悦一  
原田尚彦編

行 政 法

(1) 行政法総論 (全3巻)  
(2) 行政手続・行政争訟  
(3) 地方自治法

広岡 隆著

行 政 代 執 行 法  
+

杉村敏正・広岡 隆  
関部逸夫著

行 政 法 の 基 礎 知 識  
— 質問と解答 —

広岡隆・室井力・塩野宏編

行 政 法 判 例  
<改訂版>

遠藤博也著

都 市 計 画 法 50 講  
†

鈴木景弥・高原賢治編

土 地 収 用 法 50 講  
†

下出義明編

土 地 区 画 整 理 法 50 講  
†

遠藤 浩・荒 秀・中村博英編  
建 築 基 準 法 50 講  
†

岸 博方著

＊ 租 税 法 入 門

小松芳明著

法 人 税 法 概 説

幾代 通・遠藤 浩編

## 民法入門

谷知口平・於保不二雄編

## 民法概説

(1) 総則・物権 (全3巻)

(2) 債権

(3) 親族・相続

遠藤 浩・川井 健・原島重義  
広中俊雄・水本浩・山本准一編

## 民法

(1) 総則 (6) 契約各論

(2) 物権 (7) 事務管理

(3) 担保物権 (7) 不当利得

(4) 債権総論 (8) 親族

(5) 契約総論 (9) 相続

椿 寿夫著

## 財産法 25 講 ＜新版＞

田中 実編

## 不動産法概説(1) —民法—

荒 秀・小高 剛編

## 不動産法概説(2) —行政法—

島津一郎著

## 家族法入門

佐藤隆夫著

## 現代家族法 50 講

奥田・玉田・米倉・中井  
川井・西原・有地編

## 民法学

(1) 総論の重要問題 (5) 契約の重要問題

(2) 物権 (6) 不法行為

(3) 担保物権 (7) 親族相続

(4) 債権総論 (全7巻)

幾代 通・鈴木禄弥  
広中俊雄著

## 民法の基礎知識(1) —質問と解答—

高梨公之・染野義信  
篠原弘志著

## 民法の基礎知識(2) —質問と解答—

甲斐道太郎・乾 昭三  
椿 寿夫編

## 民法判例(1) —総則・物権— <新版>

甲斐道太郎・乾 昭三  
椿 寿夫編

## 民法判例(2) —債権— <新版>

中川 淳・久貴忠彦編

## 民法判例(3) —親族・相続—

水本 浩・高木多喜男編

## 民法 300 題

鈴木禄弥著

## 根抵当法の問題点 ↑

谷口知平・植林 弘著

## 損害賠償法概説 ↑

五十嵐 清・田宮 裕著

## 名誉とプライバシー ↑

野村好弘著

## 自動車事故の民事判例 ↑

野村好弘著

## 医療事故の民事判例 ↑

野村好弘著

## 名誉侵害の民事判例 ↑

野村好弘著

## 学校事故の民事判例 ↑

野村好弘著

## 公害の判例 ↑

野村好弘著

## 日照の判例 ↑

太田武男著

## 夫婦の法律 ↑ <新版>

太田武男・久貴忠彦著

## 親子の法律 ↑ <改訂版>

太田武男著

## \*相続の法律 ↑

久貴忠彦著

## 判例特別縁故者法 ↑

服部栄三・北沢正啓編

## 商法 ↑ <改訂版>

大隅健一郎・大森忠夫編

## 商法概説 (1)総則・会社 (2)商行為・手形等

上柳克郎・北沢正啓  
鴻 常夫・竹内昭夫編

## \*商法総則・商行為法 商法講義 1

上柳克郎・北沢正啓  
鴻 常夫・竹内昭夫編

## 会社法(1)(2) 商法講義 2・3

上柳克郎・北沢正啓  
鴻 常夫・竹内昭夫編

## 手形法・小切手法 商法講義 4

三戸岡道夫著

株式会社法入門  
＜改訂版＞

河本一郎著

約束手形法入門  
＜新版＞

上柳克郎・中西正明編

商法判例  
(1)総則・会社 (2)商行為・手形等

今井・神崎・菅原・田村  
長浜・蓮井・平出・前田著  
コンメンタル会社法(1)  
—総則・設立—新株発行—

今井・神崎・菅原・田村  
長浜・蓮井・平出・前田著  
コンメンタル会社法(2)  
—会社の計算—有価証券等—

谷川 久著

商品の売買  
↑

中田淳一編

民事訴訟法概説  
(1)判決手続 (2)強制執行

藤木英雄著

刑法

平場安治・井上正治  
滝川春雄編

刑法概説  
(1)総論 (2)各論

福田平・大塚仁・宮沢浩一  
小暮得雄・大谷実編

刑法

(1)総論1 (3)各論1  
(2)総論2 (4)各論2  
(5)各論3  
(全5巻)

福田平・大塚仁著

刑法の基礎知識  
(1)総論 (2)各論

西原春夫・藤木英雄  
森下 忠編

刑法学

(1)総論の重要問題1 (4)各論の重要問題1  
(2) " 2 (5) " 2  
(3) " 3 (6) " 3  
(全6巻)

藤木英雄編

教材刑法入門

平場安治・宮内 裕編

学説・判例 刑法案内  
＜新版＞

西原春夫・大谷 実編

刑法200題

藤木英雄著

経済取引と犯罪  
↑ 詐欺・横領・背任を中心に

藤木英雄・土本武司  
松本時夫著

刑事訴訟法入門

松尾浩也・田宮 裕著

刑事訴訟法の基礎知識  
—質問と解答—

佐藤晴夫・森下 忠編

犯罪者の処遇

有泉 亨編

労働法概説  
＜新版＞

菊池勇夫・林 迪広編

労働法大意  
＜改訂版＞

外尾健一著

労働法入門

片岡 昇著

労働法

(1)労働団体法 (2)労働保護法

窪田隼人・本多淳亮

片岡 昇著

労働法の基礎知識  
—質問と解答—

青木宗也・片岡 昇  
蓼沼謙一・横井芳弘編

労働法判例  
＜新版＞

外尾健一・花見 忠編

教材労働法入門

中山・深山・本田・宮本  
岸井・伊藤・萬井著

\* コンメンタル  
労働組合法

花見 忠編

労働基準法50講  
↑

花見 忠・保原喜志夫編

労災補償安全衛生50講  
↑

久保敏治著

労使間の交渉手続  
↑

萩沢清彦著

8時間労働制  
↑

西原道雄編

社会保障法  
＜新版＞

佐藤 進編

社会保障法判例

佐藤 進・高沢武司編

児童福祉法50講  
↑

小野昌延著

不正競争防止法概説  
†

紋谷暢男著

無体財産権法概論

紋谷暢男編

特許法 50 講  
†

紋谷暢男編

商標法 50 講  
†

小田 滋・石本泰雄  
寺沢 一編

現代国際法

香西 茂・太寿堂 鼎  
高林秀雄・山手治之著

国際法概説

沢木敬郎著

国際私法入門

篠原 一・永井陽之助編

現代政治学入門

阿部 斉・内田 満編

現代政治学小辞典

勝田吉太郎・山崎時彦編

政治思想史入門

加藤一明・加藤芳太郎  
佐藤 竺・渡辺保男著

行政学入門

齊藤 孝編

国際関係論入門  
＜第2版＞

中村英勝著

イギリス議会史  
＜新版＞

大石泰彦編

現代経済学入門  
＜増訂版＞

荒 憲治郎・福岡正夫編

経済学

熊谷尚夫・大石泰彦編

近代経済学

(1) 基礎理論 (全3巻)

(2) 応用経済学

(3) 近代経済学

荒憲治郎・稲毛満春・小西唯雄  
伊達邦春・根岸隆・福岡正夫編

経済学

(1) 価格の理論 (4) 経済循環論

(2) 厚生経済学 (5) 所得の理論

(3) 産業組織論 (6) 経済成長論

(全6巻)

伊東正則・武野秀樹  
平岡規正編

マクロ経済学要論

伊東正則・武野秀樹  
土屋圭造編

ミクロ経済学要論

保坂直達・安井修二編

例解近代経済学講義  
(1) マクロ経済学 (2) ミクロ経済学

伊東正則・武野秀樹編

近代経済学要論

岡野行秀・根岸 隆編

公共経済学

宮崎義一編

近代経済学研究入門

大谷竜造・斎藤龍造編

現代経済学研究案内

馬場正雄編

計量経済学入門

置塩信雄著

近代経済学批判

手嶋正毅編

経済学の基礎

杉原四郎・佐藤金三郎編

マルクス経済学

横山正彦編

経済学概論

富塚良三編

経済分析入門

古川 哲編

経済学要論

---

宮本義男編  
經 濟 原 論

---

杉本俊朗編  
マルクス経済学  
研究入門

---

出口勇蔵編  
經 済 学 史 入 門

---

小林 昇編  
經 済 学 史

---

時永 淑編  
經 済 学 説 史

---

水田 洋編  
社 会 思 想 史

---

相原 光・土屋六郎編  
国 際 經 済 学 入 門  
<新版>

---

水田 博・名和献三編  
国 際 經 済 論

---

行沢健三編  
入 門 国 際 經 済 学

---

松井 清著  
世 界 經 済 入 門  
<増訂版>

---

木下悦二編  
貿 易 論 入 門

---

宇高基輔編  
社 会 主 義 經 済 論

---

---

千種義人編  
經 済 政 策

---

加藤 寛・中村秀一郎  
新野幸次郎編  
經 済 政 策  
(1) 経済政策の原理  
(2) 日本の経済政策  
(3) 日本の産業政策  
(全3巻)

---

神野璋一郎・吉田義三編  
經 済 政 策 論

---

野田 稔・中村秀一郎編  
經 済 政 策 入 門  
<新版>

---

百々 和・野尻武敏  
野間俊威編  
經 済 政 策 総 論

---

宮川公男編  
システム分析概論  
↑ 一政策決定の手法と応用一

---

新野幸次郎・伊東光晴編  
寡 占 經 済 論  
↑

---

越後和典編  
産 業 組 織 論

---

伊東岱吉・小林義雄  
加藤誠一編  
工 業 經 済 論

---

藤田敬三・竹内正巳編  
中 小 企 業 論  
<新版>

---

加藤誠一編  
中 小 企 業 問 題 入 門  
↑

---

---

一瀬智司・大島国雄  
肥後和夫編  
公 共 企 業 論

---

江見康一・塩野谷祐一編  
日 本 經 済 論  
一経済成長100年の分析一

---

美濃部亮吉・御園生 等編  
日 本 經 済 入 門  
<第2版>

---

小尾恵一郎編  
日 本 經 済 分 析 入 門

---

宮下武平編  
日 本 産 業 論

---

宮沢健一編  
産 業 構 造 分 析 入 門

---

金子敦生編  
産 業 連 関 分 析  
↑

---

川上正道・上原信博著  
農 業 政 策 論  
<新版>

---

尾上久雄編  
經 済 体 制 論

---

増井健一・佐竹義昌編  
交 通 經 済 論

---

中西健一・平井都士夫編  
交 通 概 論

---

角本良平著  
都 市 交 通 政 策 論

---

---

福地崇生編  
地 域 經 済 学

---

山田浩之編  
都 市 經 済 学

---

堀江英一著  
經 済 史 入 門  
＜新版＞

---

石坂昭雄・船山榮一  
宮野啓二・諸田 実著  
西 洋 經 済 史

---

永原慶二編  
日 本 經 済 史

---

後藤 靖・佐々木隆爾  
藤井松一著  
\* 日本資本主義  
発達史概説

---

麓 健一著  
貨 幣 論

---

田村 茂・石川常雄  
原 正彦著  
金 融 論 入 門

---

矢尾次郎・川口慎二編  
金 融 政 策 入 門  
＜新版＞

---

三宅義夫著  
金 融 論

---

竹村脩一・玉野井昌夫編  
金 融 經 済 論  
＜新版＞

---

紅林茂夫・東 米雄  
斎藤 健編  
銀 行 論 入 門  
—日本の金融と銀行—

---

---

高木暢哉編  
銀 行 論

---

川合一郎・一泉知永編  
証 券 市 場 論  
＜改訂版＞

---

伊牟田・熊野・呉・志村  
竹村・野田・浜田著  
証 券 經 済 論

---

木村栄一・庭田範秋編  
保 險 概 論

---

庭田範秋編  
保 險 經 営 論

---

長崎正造著  
損 害 保 險 論 入 門

---

木村栄一編  
損 害 保 險 論

---

庭田範秋編  
生 命 保 險 論

---

新庄 博著  
国 際 金 融 論

---

村野 孝・松村善太郎編  
国 際 金 融  
—通貨と制度—

---

小野朝男・西村閑也編  
国 際 金 融 論 入 門

---

幸田精藏編  
外 国 為 替 論 入 門

---

---

木村 滋著  
外 国 為 替 論

---

肥後和夫編  
財 政 学 要 論  
＜新版＞

---

牛嶋 正・米原淳七郎編  
財 政 学 入 門

---

木下和夫・肥後和夫  
大熊一郎編  
財 政 学  
(1) 財政の理論 (全3巻)  
(2) 日本の財政  
(3) 日本の地方財政

---

木下和夫編  
財 政 政 策 入 門

---

高橋 誠・柴田徳衛編  
財 政 学

---

吉岡健次・和田八束編  
現 代 地 方 財 政 論

---

米原淳七郎著  
地 方 財 政 学

---

恒松治治・橋本 徹編  
都 市 財 政 概 論

---

橋本 徹・宇田川瑋仁編  
福 祉 財 政 論

---

森田優三・竹内 清  
宮川公男編  
統 計 学 入 門

---

内海庫一郎・木村太郎  
三緒信邦編

統 計 学  
＜改訂版＞

大橋隆憲・高木秀玄  
大屋祐雪編

経 済 統 計

片岡信二著

コンピュータ入門  
↑ ハード/ソフト/システム

岸本英太郎編

社会政策入門  
＜改訂版＞

矢島悦太郎編

社会政策概論

吉村朔夫・戸木田喜久編

現代社会政策

岸本英太郎編

労働経済論入門

小野 旭・南 亮進編

労働経済論

近藤文二編

社会保障入門  
＜新版＞

小山路男・佐口 卓編

社会保障論  
＜新版＞

西村裕通編

労働者福祉論

黒住 章・中鉢正美  
松本浩太郎編

老 齢 保 障 論  
↑

佐口 卓著

医 療 保 険 論

桜井信行編

現代経営学入門

中村常次郎編

経 営 学  
＜増訂版＞

高柳 暁・飯野春樹編

経 営 学  
(1)総論 (2)管理の理論と実際

馬場克三編

経 営 学 概 論

岡村正人編

経 営 学 総 論

田杉 鏡編

経 営 管 理 総 論

松岡啓木編

経 営 管 理 論  
＜改訂版＞

米川伸一編

経 営 史

丹波康太郎編

財 務 管 理 概 論

細井 卓著

財 務 管 理 入 門

後藤幸男・森 昭夫編

経 営 財 務

森 五郎編

労 務 管 理 論  
＜増訂版＞

海道 進・島 弘編

現代労務管理概論

藤田 忠編

人 事 管 理  
↑

人見勝人著

生産の計画理論  
↑

涌田宏昭編

経 営 情 報 論  
↑

森下二次也編

商 業 概 論

深見義一編

マ ー ケ テ ィ ン グ 論  
＜増訂版＞

マーケティング・  
サイエンス研究会編

マーケティング調査  
↑ 数量化理論の解説と応用

深見義一・佐藤 肇  
田島義博編

流 通 問 題 入 門  
↑

久保村隆祐・高城 元編

小 売 流 通 入 門  
↑

久保村隆祐・村田昭治編

広 告 論

---

鈴木忠義編  
現代観光論

---

---

飯野利夫編  
現代会計学入門  
＜新版＞

---

---

山峠忠恕編  
会計学  
＜改訂版＞

---

---

青木茂男編  
管理会計概論

---

---

久保田音二郎編  
管理会計

---

---

久保田音二郎編  
原価会計

---

---

大即・君塚・近藤  
敷田・中村・成田著  
原価計算

---

---

高田正淳編  
監査論

---

---

大山政雄編  
機械会計論  
↑

---

---

水島恵一編  
人間科学入門

---

---

水島恵一著  
人間学

---

---

日本社会学会編集委員会編  
現代社会学入門  
＜第2版＞

---

---

福武直・浜島朗編  
社会学

---

---

浜島朗・竹内郁郎  
石川晃弘編  
社会学小辞典

---

---

山根常男・森岡清美編  
現代社会学の基本問題  
↑

---

---

浜島朗編  
\*社会学史

---

---

福武直編  
社会学研究案内  
—問題点と文献解説—

---

---

福武直・松原治郎編  
社会調査法

---

---

安田三郎著  
社会調査ハンドブック  
＜新版＞

---

---

武藤真介著  
社会統計学

---

---

森岡清美編  
家族社会学

---

---

岩井弘融編  
都市社会学

---

---

萬成博・杉政孝編  
産業社会学

---

---

佐藤毅編  
社会心理学

---

---

日高六郎・佐藤毅  
稲葉三千男編  
マス・コミュニケーション入門

---

---

千葉雄次郎編  
マス・コミュニケーション要論

---

---

高木教典編  
\*マス・メディア産業論

---

---

姫岡勲・二関隆美編  
教育社会学

---

---

大橋薫編  
社会病理学

---

---

大橋薫・大藪寿一編  
都市病理学

---

---

大橋薫・四方寿雄  
光川晴之編  
家族病理学

---

日本犯罪社会学会編

## 犯 罪 社 会 学

青井和夫・松原治郎

副田義也編

## 生 活 構 造 の 理 論

安田三郎編

## 現代日本の階級意識

中村八朗著

## 都市コミュニティ の社会学

浜島 朗編

## 現 代 青 年 論

蒲生正男・祖父江孝男編

## 文 化 人 類 学

吉田禎吾・蒲生正男編

## 社 会 人 類 学

一番ヶ瀬康子・真田 是編

## 社 会 福 祉 論 <新版>

吉永 清・今岡健一郎

星野貞一郎編

## 社 会 福 祉 概 説

小松源助編

## ケ ー ス ワ ー ク 論

一番ヶ瀬康子編

## 児 童 福 祉 論

山口 透編

## 少 年 保 護 論

平尾 靖編

## 非行一補導と矯正教育

湯沢雅彦編

## 老 年 学 入 門

星野貞一郎・藤村 哲

原田信一・井田範美編

## 障 害 福 祉 入 門

早川和男・和田八東

西川桂治編

## 住 宅 問 題 入 門 ↑

末永俊郎編

## 現代心理学入門

大山 正・詫摩武俊

中島 力著

## 心 理 学 <第2版>

麦島文夫・安香 宏

森 武夫著

## 心 理 学 要 論

柿崎祐一ほか編 (全8巻)

## 心 理 学

(1) 知覚・認知 柿崎祐一・牧野達郎編

(2) 学習・思考 金城辰夫・斎賀久敏編

(3) 動機づけ・情緒 吉田正昭・祐宗省三編

(4) 人 格 星野 命・河合雄雄編

(5) 発 達 岡本夏木・三宅和夫編

(6) 社会心理 辻 正三・中村陽吉編

\* (7) 家族心理 古畑和孝・小嶋秀夫編

\* (8) 産業心理 森清善・行長山泰久編

大山 正・藤永 保

吉田正昭編

## 心 理 学 小 辞 典

大山 正・池田 央

武藤真介編

## 心理測定・統計法

河内十郎・深田芳郎著

## \* 生理心理学の基礎

沢田慶輔・小口忠彦編

## 教 育 心 理 学

小口忠彦・辰野千寿編

## 教育心理学原論

波多野詔余夫・久原恵子著

## 入門教育心理学

北尾倫彦・杉村 健編

## 児 童 学 習 心 理 学

依田 明・永野重史著

## \* 入門児童心理学

深谷昌志・深谷和子著

## 現 代 子 ど も 論

津留 宏編

## 青 年 心 理 学

上出弘之・伊藤隆二編

## 知 能

金田利子著

## 乳 幼 児 保 育 論

---

岡堂哲雄編  
家族心理学

---

安藤瑞夫編  
産業心理学

---

山田雄一編  
組織心理学

---

平尾 靖編  
犯罪心理学

---

梅津耕作編  
自閉児の行動療法

---

梅津耕作編  
\*自閉児の治療教育

---

---

勝田守一編  
現代教育学入門

---

中内敏夫編  
教育学概論

---

---

有吉 保編  
中世日本文学史

---

---

神保五弥編  
近世日本文学史

---

三好行雄編  
近代日本文学史

---

三好行雄・竹盛天雄編  
近代文学  
(1) 黎明期の近代文学  
(2) 明治文学の展開  
(3) 文学的近代の成立  
(4) 大正文学の諸相  
(5) 現代文学の胎動  
(6) 昭和文学の実質  
(7) 戦後の文学  
(8) 近代の詩歌  
(9) 現代の詩歌  
(10) 文学研究の主題と方法

---

---

山崎正一・田島節夫編  
現代哲学入門

---

沢田允茂編  
哲 学

---

城塚 登編  
西洋哲学史

---

山崎正一・田島節夫編  
哲学研究案内

---

城塚 登編  
社会思想史入門

---

---

荒川幾男・生松敬三編  
近代日本思想史

---

---

堀米庸三編  
現代歴史学入門

---

井上光貞編  
日本史入門

---

西嶋定生編  
東洋史入門

---

井上幸治編  
西洋史入門

---

---

道 喜美代・渡辺ミチ編  
家 政 学

---

---

山崎俊雄編  
現代自然科学入門

---

白井俊明著  
無機化学入門

---

---

—以下逐次刊行—

---